



## 東京 2020 ライブサイト in 2016

リオデジャネイロ 2016 オリンピック・パラリンピック競技大会の期間中、国営昭和記念公園にて「東京 2020 ライブサイト in 2016」が開催され、本学の学生 7 名が運営ボランティアとして 14 日間の日程を分担して活動しました。このイベントでは、大画面による迫力ある競技の生中継や、ステージイベント、競技体験等が開催されました。初日は、オリンピックの開会式が執り行われていたため、生中継が行われるメインステージでは、多くの方が集まり、日本人選手団が登場した際は拍手を送っていました。

### 活動の様子

会場受付にてボランティア活動用の黄色の T シャツを受け取った後、控室で活動内容等が説明されました。初日は、パラリンピックの競技種目でもある、ブラインドサッカーの体験コーナーの受付を担当することとなりました。

ブラインドサッカーは、全盲の選手がプレーするため、鈴をいれたボールを使って行われる、5 対 5 のサッカーです。体験コーナーでは、実際にブラインドサッカーで使われるボールと目隠しを用いて競技の体験が行われていました。素人でも安全に体験が出来るよう、サッカーやブラインドサッカーの経験を持つ方がスタッフとして体験者と一緒に競技をしてくださっていま

た。音のみからボールの位置を理解するのは、やはり大変難しいようで、体験者はボールの場所をつかめず、ボールに足を当てるのにも苦労している様子でした。運営ボランティアは、人数や時間の管理、ルール説明、一緒に競技をしながらサポートなどを行っていました。

また、体験コーナーの活動以外では、インフォメーションコーナーや遊具の貸出し、呼び込み、アンケートの回収など、様々な会場運営に関わり、イベントを盛り上げました。休憩時間中には、イベントステージでの競技の解説や、オリンピックやパラリンピアンによるトークセッションを見ることができました。

### 活動を終えて

ボランティア参加者からは、「幅広い世代の方々と一緒にコンテンツを楽しむことができ、楽しかった」「オリンピック・パラリンピックを実現させるために、多くのボランティアが支えていることや、ボランティアでなくても多くの方々が盛り上げている、という言葉聞き、それが印象に残っている」といった感想が聞かれました。

期間中は、台風等の影響でお天気に悩まされる日もありましたが、学生たちは活動回数を重ねていくうちに、このイベントのボランティアの意義についての考えが深まり、有意義な活動になったようです。

## 東京 2020 ライブサイト in 2016 ～リオから東京へ～

2016/8/6-9/19



### ブラインドサッカー体験コーナー受付

人数や時間をチェックし、アイマスクとボールを渡す。親子で参加する人が多かった。



### その他の体験コーナー

体験コーナーはブラインドサッカーに限らず、クライミングや 10 メートル競争などもありました。

上の写真は、その中の一つ、トランポリンの体験コーナーの様子です。大人から子どもまで、幅広い世代の方が会場を訪れていました。